

森林由来J-クレジット認証促進事業審査基準書

審査項目	審査内容	配点	総合
業務理解度	仕様書に記載されている業務内容を十分に踏まえ、現実的な提案となっているか。	15	15
企画内容	森林由来J-クレジットの広報対応について、クレジット創出への普及促進につながる企画・工夫がなされているか。	5	25
	森林由来J-クレジット説明会について、説明会参加者が制度の理解を深めることができる企画・工夫がなされているか。	5	
	森林由来J-クレジットプロジェクト登録支援業務について、クレジット創出対象者のプロジェクト計画書の作成及びプロジェクト登録申請を効率的に支援できる企画・工夫がなされているか。	5	
	森林由来J-クレジットモニタリング・認証支援業務について、クレジット創出対象者のプロジェクト計画に基づくモニタリング調査、モニタリング報告書の作成及びクレジット認証申請を効率的に支援できる企画・工夫がなされているか。	5	
	森林由来J-クレジット購入者とのマッチングについて、県内のクレジットの流通促進につながる企画・工夫がなされているか。	5	
事業実施	森林由来J-クレジットの広報対応について、より効果的な情報発信や分かりやすい内容となっているか。	5	25
	森林由来J-クレジットの説明会について、計画的かつ効率的な開催方法となっているか。	5	
	森林由来J-クレジットプロジェクト登録支援業務について、具体性のある実施方法となっているか。	5	
	森林由来J-クレジットモニタリング・認証支援業務について、具体性のある実施方法となっているか。	5	
	森林由来J-クレジット購入者とのマッチングにおける説明会の開催及び個別訪問の実施について、計画的かつ効率的な実施方法となっているか。	5	
実施体制	森林由来J-クレジットの審査申請等の手続きに精通しており、確実に説明会や個別訪問で創出者や購入者に対する助言が行える体制が整っているか。	20	20
計画性	委託された業務の執行において、計画的で無理がなく、具体的かつ実施可能なスケジュールとなっているか。	10	10
経済性	経費の積算に無駄がなく妥当であるか。また、節減が図られているか。 ※採点基準は別紙のとおり	5	5
合 計		100	100

【審査方法】

- (1) 委員は、各項目について審査を行い、採点する。
- (2) 全ての委員の点数を集計する。
- (3) 集計の結果、合計点数が最も高い参加者を受託候補者として決定する。なお、点数が同点の場合は、委員の協議により決定する。
- (4) 委員の合計点数が最低基準点である300点(満点500点×6割)以上になった参加者がいなかったときは、受託候補者を決定しない。
- (5) 参加者が1者だけの場合、委員の合計点数が最低基準点である300点(満点500点×6割)以上になったとき、その参加者を受託候補者として決定する。

【評価基準(5段階)】下記を基準に係数を乗じた点数とする。

- 5 標準より非常に優れた提案
- 4 標準より優れた提案
- 3 標準的な提案
- 2 標準よりもやや劣る提案
- 1 標準より劣る提案

別紙 審査基準書 審査項目「経済性」の採点基準表

配点	提案額/予算上限額(%)
1	96～100
2	91～95
3	86～90
4	81～85
5	80以下